

未来に向かって

家庭教育のポイント



① 早寝早起き、ふんの上げ下ろし、洗顔歯みがき、食事、排便といった基本的な生活のリズムを確立しましょう。

② 家の仕事を分担し、いつでもどこでもまめまめしく働かせることを積極的にやりましょう。

③ テレビにどっぷりつかつた生活からは活力に満ちた子どもは望めません。テレビから子どもを取り返しましょう。

④ 戸外での友だちとの遊びやスポーツを、おおいに奨励しましょう。

⑤ 物の値うちやお金の大事さをしっかりと教え、がまんする

ことの大切さをわからせましょう。

⑥ 日頃のふるまひの中で、悪いことは悪いときちんと言いい、教えさとし、物事の価値判断をしっかりと示しましょう。

⑦ 乱暴な言葉づかい、誤った言葉づかいはきちんと言え、必ずその場でやめさせるようにしましょう。

⑧ 子どもの見なれない持ち物を見かけたら、ちゃんと問いただし、あいまいにしておかないようにしましょう。

⑨ 子どもの服装、頭髮の変化に気をつけ親の考えをしっかりと示し、問題があったらきつぱりとやめさせましょう。

⑩ 家族のつながりを大事にし、いつも話し合いながら、子どもの生活や気持ちをよく理解するように心がけましょう。

⑪ テストの点数や学習の善し悪しだけで子どもを見ることは絶対にやめましょう。

⑫ 子どもの良い面は積極的にほめ、親の過ちやまちがいは素直にあやまりましょう。

⑬ どんな事でも子どもの言い分をしっかりと聞いた上で親の判断を示し、最初から子どもを否定してしまわないように心がけましょう。

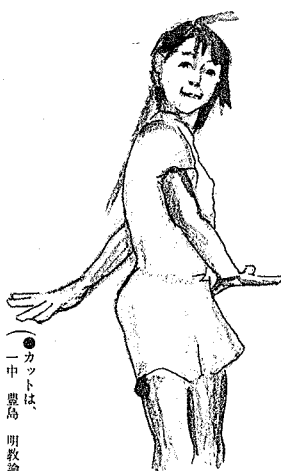
⑭ 子は親の生活ぶり

を見て育ちます。親の前向きの生き方をしっかりと示しましょう。

⑮ 子育てはお父さんとお母さんの根気強い二人三脚の仕事です。お父さんも子どもとのふれあいを多くもちましょう。

⑯ 子育ては地域の共同の仕事でもあることを忘れないようにしましょう。

◆あとかぎ◆
厳しい冬をくぐりぬけて、今雪どけ。
卒業、受験、進学、進級、就職と心さわぐことしきりのこの頃です。学習や生活の大切な節目の時期にあつて、私たち大人はこぞつて、今こそ孫育て・子育てというかけがえのないひと育てへの仕事を、真剣に背負わねばなりません。
あなたの家庭での子育てぶりを、家族ぐるみで今一度ふり返つてみましょう。子どもへの限りない信頼と愛情、そしてこまやかな心くばりこそが、今必要とされているのですから。



●カットは
一中 豊島 明教諭